



人権教育研修会のお知らせ

2024年、広島と長崎の被爆者の全国組織である「日本原水爆被害者団体協議会（被団協）」がノーベル平和賞を受賞しました。2025年7月には、ノーベル賞委員会の委員長が広島を訪問し、原爆資料館を視察しました。委員長は、広島に原爆が投下されてから80年が経過したことで「核兵器が二度と使われてはならないという思いを強くした」と語りました。被爆者、その周辺の人たちはどのような思いでおられるのでしょうか。核兵器・戦争・被爆について考えてみましょう。

「被爆体験伝承者の講演会」

～戦争の終わりはいつだと思えますか～

講師 かわかみ しんじ 川上 慎治 さん

日時 2026年1月31日（土）
13：30～15：00



伝承者として原爆の悲惨さを伝えていく川上慎治さん

※2025.12.8の日本海新聞より抜粋

会場 上井コミュニティセンター・多目的ホール

申込メ切 1月23日（金）まで

～川上 慎治さんプロフィール～

川上さんは「被爆体験伝承者」養成事業受講者の第13期生である。小学校教諭を退職後「被爆体験伝承者」になるために倉吉から広島に通い、被爆体験者から伝授。（研修期間は概ね2年といわれている。）今年度の8月に資格をとられ、9月から各地で「被爆体験伝承者」としての活動をしてられます。

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ乗り合わせのうえご参加ください。

申し込み・問い合わせ先／上井コミュニティセンター

月～金 9：00～17：00（※祝日は除く）

TEL/26-1736 FAX/26-3621

※裏面もご覧ください。